



2027年 1 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 9 月14日

上場会社名 ポールトゥウィンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3657 URL <https://www.phd.inc>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）橋 鉄平
 問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO （氏名）山内 城治 （Email）ir@ptw.inc
 半期報告書提出予定日 2026年 9 月14日 配当支払開始予定日 2026年10月 9 日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年 1 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績（2026年 2 月 1 日～2026年 7 月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年 1 月期中間期	23,025	△6.7	829	—	996	—	432	—
2026年 1 月期中間期	24,674	1.6	△206	—	△481	—	△392	—

（注）包括利益 2027年 1 月期中間期 249百万円（－％） 2026年 1 月期中間期 △773百万円（－％）

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年 1 月期中間期	12.22	—
2026年 1 月期中間期	△11.10	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年 1 月期中間期	21,781	8,389	38.5
2026年 1 月期	22,328	8,422	37.7

（参考）自己資本 2027年 1 月期中間期 8,385百万円 2026年 1 月期 8,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年 1 月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2027年 1 月期	—	8.00	—	—	—
2027年 1 月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年 1 月期の連結業績予想（2026年 2 月 1 日～2027年 1 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,082	△3.6	2,014	—	1,891	—	700	—	19.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2027年1月期中間期	38,156,000株	2026年1月期	38,156,000株
2027年1月期中間期	2,795,751株	2026年1月期	2,795,751株
2027年1月期中間期	35,360,249株	2026年1月期中間期	35,360,249株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで2026年9月14日(月)に開示する予定です。

また、当社は、2026年9月17日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方、日本銀行の金融政策正常化に伴う政策金利の引き上げや物価上昇の継続、海外経済の動向による影響が懸念される等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループにおいては、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルの企画、開発、リリース、運用、改善の工程（サービス・ライフサイクル）において、品質コンサルティング、ゲームデバッグ、ソフトウェアテスト、環境構築・移行サポート、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策、BPRサポート等を提供するサービス・ライフサイクルソリューション事業をグローバルで推進しております。当中間連結会計期間においては、グループ各社が培ってきた技術力及び専門性に対する評価が一層高まり、市場におけるプレゼンスの向上が進みました。国際的なソフトウェアテスト技術者資格認定機関であるISTQBパートナープログラムにおいて最高位ランクである「Global Partner」に認定された他、英国ゲーム業界団体が主催する政策懇談会「Westminster Games Week 2026」への参加を通じて、関連企業、業界団体、行政機関及び政府関係者との関係強化を図りました。これらの取り組みは、中長期的な企業価値の向上に加え、社会的価値の創出にも寄与するものと考えております。業績面では、事業再編の一環としてメディア・コンテンツ事業から撤退した影響により減収となったものの、ゲーム分野における旺盛な市場需要を背景としたシェア拡大や、収益基盤の再構築の進展に加え、前年同期に計上した一時費用の剥落等により、収益性は大幅に改善いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は23,025,213千円（前年同期比6.7%減）、営業利益は829,769千円（前年同期は206,823千円の損失）、経常利益は996,263千円（前年同期は481,391千円の損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は432,090千円（前年同期は392,366千円の損失）となりました。

業務の種類ごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内ソリューション)

当業務では、国内子会社において、主に3分野でサービスを提供しております。ゲーム分野では、ゲーム・エンタメ市場向けに、30年以上の実績を持つBPO事業として、ゲームデバッグを中心とした品質支援サービスを展開しております。Tech分野では、非ゲーム領域を対象に、アプリやWebサイトの検証を行うソフトウェアテスト及び付随する品質管理やテスト自動化等の周辺サービスの他、AI技術等を駆使して企業のDX推進を総合的に支援するITソリューションの提供を行っております。CX分野では、主にEコマース及び金融市場向けに、モニタリング（監視）や不正対策、カスタマーサポートの運用代行サービス等を提供しております。ゲーム市場向けのデバッグサービスの伸長が、当業務の売上高成長を牽引いたしました。

この結果、国内ソリューションの売上高は13,648,423千円（前年同期比6.0%増）となりました。

(海外ソリューション)

当業務では、主に在外子会社において、音声収録、ローカライズ、カスタマーサポート、デバッグの他、グラフィック制作等の主にゲーム市場向けのサービスを提供しております。前期までに推進したレイオフ等の当期の一時的な減収に備える施策が奏功した他、前期において実施したリブランディングやオフショア拠点の立ち上げ等に伴うまとまった一時費用が剥落した結果、売上高は減少したものの収益性は改善しております。

この結果、海外ソリューションの売上高は9,376,789千円（前年同期比3.8%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて600,996千円(3.6%)減少し、15,929,889千円となりました。これは、主に現金及び預金が126,831千円、仕掛品が78,973千円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が590,337千円、その他(未収入金等)が227,262千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて54,096千円(0.9%)増加し、5,852,053千円となりました。これは、主に工具、器具及び備品が41,762千円減少したものの、ソフトウェアが64,826千円、繰延税金資産が19,512千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて546,900千円(2.4%)減少し、21,781,943千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて493,300千円(3.6%)減少し、13,139,706千円となりました。これは、主に未払法人税等が311,436千円増加したものの、未払金が525,744千円、その他(未払消費税等)が301,421千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19,889千円(7.3%)減少し、253,016千円となりました。これは、主にその他(有給休暇引当金等)が9,099千円増加したものの、退職給付に係る負債が34,447千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて513,190千円(3.7%)減少し、13,392,722千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて33,710千円(0.4%)減少し、8,389,220千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上及び配当金の支払い等により利益剰余金が149,208千円増加したものの、為替換算調整勘定が181,678千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間においては、前期までに実施したメディア・コンテンツ業務からの撤退を中心とした収益基盤の再構築により収益性の改善が順調に進捗したことに加え、国内外におけるゲーム分野の旺盛な需要の取り込みに注力してまいりました。その結果、本日(2026年9月14日)公表の「第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績との差異に関するお知らせ」のとおり、第2四半期(中間期)の業績は期初予想を上回り、親会社株主に帰属する中間純損失を見込んでいた予想に対し、親会社株主に帰属する中間純利益を計上する結果となりました。一方で、下期においては事業環境の先行きに不透明な要素が残ることから、現時点では通期連結業績予想を期初公表値から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当中間連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,986,036	7,112,867
受取手形、売掛金及び契約資産	7,752,002	7,161,664
仕掛品	42,063	121,036
その他	1,788,817	1,561,555
貸倒引当金	△38,032	△27,234
流動資産合計	16,530,886	15,929,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,656,121	2,698,902
減価償却累計額	△1,001,687	△1,061,419
建物及び構築物(純額)	1,654,434	1,637,482
機械装置及び運搬具	80,047	82,498
減価償却累計額	△45,486	△51,437
機械装置及び運搬具(純額)	34,561	31,061
工具、器具及び備品	3,644,659	3,101,877
減価償却累計額	△3,045,647	△2,544,628
工具、器具及び備品(純額)	599,011	557,249
その他	27,856	28,893
有形固定資産合計	2,315,864	2,254,686
無形固定資産		
のれん	116,863	95,489
ソフトウェア	242,157	306,984
その他	1,734	1,665
無形固定資産合計	360,755	404,139
投資その他の資産		
投資有価証券	696,216	717,049
敷金及び保証金	1,138,729	1,147,142
繰延税金資産	1,253,775	1,273,287
その他	170,578	253,198
貸倒引当金	△137,962	△197,450
投資その他の資産合計	3,121,337	3,193,226
固定資産合計	5,797,957	5,852,053
資産合計	22,328,843	21,781,943

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当中間連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	7,600,000	7,600,000
未払金	4,174,937	3,649,193
未払費用	312,472	288,797
未払法人税等	183,293	494,730
賞与引当金	—	46,102
その他	1,362,303	1,060,882
流動負債合計	13,633,007	13,139,706
固定負債		
退職給付に係る負債	160,144	125,697
繰延税金負債	288	5,747
その他	112,472	121,571
固定負債合計	272,905	253,016
負債合計	13,905,912	13,392,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,183,442	2,183,442
利益剰余金	6,338,946	6,488,154
自己株式	△2,552,270	△2,552,270
株主資本合計	7,209,183	7,358,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956	—
為替換算調整勘定	1,208,306	1,026,628
その他の包括利益累計額合計	1,209,262	1,026,628
非支配株主持分	4,485	4,201
純資産合計	8,422,931	8,389,220
負債純資産合計	22,328,843	21,781,943

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
売上高	24,674,146	23,025,213
売上原価	18,789,901	17,310,039
売上総利益	5,884,244	5,715,174
販売費及び一般管理費	6,091,067	4,885,404
営業利益又は営業損失(△)	△206,823	829,769
営業外収益		
受取利息	13,568	6,632
為替差益	—	187,199
助成金収入	14,841	16,628
その他	21,173	38,909
営業外収益合計	49,583	249,369
営業外費用		
支払利息	37,121	45,545
為替差損	224,757	—
投資有価証券運用損	19,370	24,103
その他	42,902	13,227
営業外費用合計	324,151	82,875
経常利益又は経常損失(△)	△481,391	996,263
特別利益		
関係会社株式売却益	86,752	—
特別利益合計	86,752	—
特別損失		
固定資産除却損	—	6,000
投資有価証券売却損	—	6,355
減損損失	150,000	—
特別退職金	10,234	—
特別損失合計	160,234	12,355
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△554,873	983,907
法人税等	△160,984	552,101
中間純利益又は中間純損失(△)	△393,888	431,805
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1,522	△284
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△392,366	432,090

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△393,888	431,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,328	△956
為替換算調整勘定	△386,506	△181,678
その他の包括利益合計	△379,178	△182,634
中間包括利益	△773,066	249,171
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△771,544	249,455
非支配株主に係る中間包括利益	△1,522	△284

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△554,873	983,907
減価償却費	473,624	320,699
減損損失	150,000	—
のれん償却額	166,338	21,344
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,552	48,690
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,754	46,102
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,261	△32,531
受取利息及び受取配当金	△13,568	△6,632
助成金収入	△14,841	△16,628
支払利息	37,121	45,545
為替差損益(△は益)	148,572	△258,546
投資有価証券運用損益(△は益)	19,370	24,103
固定資産除却損	—	6,000
投資有価証券売却損益(△は益)	—	6,355
関係会社株式売却損益(△は益)	△86,752	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	904,251	684,020
棚卸資産の増減額(△は増加)	△394,098	△78,973
未収入金の増減額(△は増加)	△108,557	△211,306
未払金の増減額(△は減少)	△635,882	△538,780
未払費用の増減額(△は減少)	280,028	△38,120
未払消費税等の増減額(△は減少)	△136,794	△102,174
契約負債の増減額(△は減少)	572,417	△7,383
預り金の増減額(△は減少)	58,099	△28,988
その他	△34,987	105,913
小計	788,423	972,616
利息及び配当金の受取額	13,568	6,632
助成金の受取額	14,841	16,628
利息の支払額	△37,890	△48,949
法人税等の支払額	△514,286	△215,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,657	731,086
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△233,426	△163,906
無形固定資産の取得による支出	△52,585	△125,127
投資有価証券の取得による支出	△89,701	△48,570
投資有価証券の売却による収入	—	10,307
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△523,249	—
事業譲受による支出	△208,531	—
貸付けによる支出	△1,552	—
貸付金の回収による収入	2,646	4,933
敷金及び保証金の差入による支出	△82,743	△26,068
敷金及び保証金の回収による収入	355	8,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188,787	△340,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△20,408	—
配当金の支払額	△282,881	△282,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,710	△282,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146,303	18,741
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△773,724	126,831
現金及び現金同等物の期首残高	7,012,693	6,986,036
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,238,969	7,112,867

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。